

3. 取組み事例（1）対象者別事例
 ③職域一病院・薬局（船橋市）

③ 職域（病院・薬局）

市町村名	船 橋 市
------	-------

取組みの具体的内容

講座の基本情報

受講対象者	病院職員、薬局職員		
受講人数	17名		
講座開催時間	60分（13:00～14:00）	開催場所	病院待合室
開催メイト数	1名		
使用教材	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座標準テキスト <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座中学生用副読本 <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座小学生用副読本 <input type="checkbox"/> 100万人キャラバンDVD		

※■は使用教材。

カリキュラム

- 病院での昼休みを利用しての1時間の講習。
- また、DVDは使用しないで、とのことなので、内容を説明する際にDVDの内容を取り入れた。
- 医師、看護師、薬剤師と、受講者は医学的には認知症の理解はされているので、具体的事例を取り入れて（DVDの事例）話した。
- 認知症の患者さんを相手にされていて、困っていることを話してもらった。

取組みの背景、講座開催のきっかけ

船橋市包括支援課からの依頼で、高根台の個人病院の待合室での講習会を開催した。また、病院関係者（医師、看護師、病院の下にある薬局の職員）、関係者の御家族に参加してもらった。

受講者からの質問、意見等

- （1）「病院の待合室では、あまり受け答えが出来ないのに、ドクターの前でははっきり答えたりする老人がいる。どうしてなのか？」
- （2）「いつも一人で通院しているが、次第に待合室での患者さんの状態が、失禁をしたりと大変になっている事があるが、どうしたらよいか、誰に相談すればよいか？」

取組みの具体的効果、成果

地域での独居の方々への見守りは、介護の現場だけでなく、内科など、その他の病院との連携が必要だと感じた。病院関係者の方々が、緊急性を感じる高齢者がいたら遠慮せず地域包括支援センターに連絡していく、と話していた。

問い合わせ先

【事務局】

船橋市包括支援課

TEL：047-436-2882 / FAX：047-436-2885

3. 取組み事例（1）対象者別事例
 ③職域一病院・薬局（木更津市）

市町村名	木更津市
------	------

取組みの具体的内容

講座の基本情報

受講対象者	病院職員、薬局職員 他		
受講人数	12名		
講座開催時間	100分（15:00～16:40）	開催場所	院外薬局内
開催メイト数	2名	実施企画	受講者からの依頼
使用教材	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座標準テキスト <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座中学生用副読本 <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座小学生用副読本 <input checked="" type="checkbox"/> 100万人キャラバンDVD		
独自の取組み	紙芝居、DVD「支えあう認知症ケア」		

※■は使用教材。

カリキュラム

1	ビデオ上映(キャンペーンビデオ)
2	認知症サポーター100万人キャラバンとは
3	認知症とはどういうものか？
4	早期診断、早期治療が大事
5	認知症の人と接するときの心がまえ
6	家族の気持ちを理解しよう ○紙芝居「やすおじいちゃんものがたり」
7	ビデオ上映 ○「支えあう認知症ケア」（千葉県制作）
8	相談機関について
9	認知症予防について
10	認知症サポーターのできることに
11	質疑応答・贈呈式

取組みの背景、講座開催のきっかけ

当地域包括支援センターで定期的に発行している機関紙の記事の中で、認知症サポーター養成講座の開催報告をしており、今回定期的に配付している医療機関から開催の問合せがあった。

いきさつとしては、その医療機関の医師から病院で働くスタッフに開催の提案があったとのこと。開催予定は午後休診の曜日にて調整可能との事だった。場所は院外薬局を使用し開催する事となった。

受講者からの質問、意見等

- （1）当院は「治療→終了」という形が多い。認知症に精通する職員が少ない。しかし実際は認知症を患っている方は増えている。
- （2）認知症の初期を見分ける方法があれば教えてほしい。
- （3）介護申請を勧める事は多いがその後どこに繋がればよいか。
- （4）医療と介護の一体的な動きが必要と思うがその主体となるところはどこか。

取組みの具体的効果、成果

●参加された医師からの意見

（1）「当医院は認知症と遠いところにいると思っていた。しかし認知症の原因と言われる高血圧・高脂血症・肥満…、動脈硬化は全く同じ原因と発見、興味を持ち始めた。」

（2）「今回の養成講座と共に、今後は認知症サポート医の受講検討や職員で施設見学等を考えている。」

●最初は「医療機関なのである程度解るだろう」という印象があったが、実施してみるとその様な考えは間違っている事がわかった。実際は高齢者ではない患者さんも多く、対応に苦慮している様子が伺えた。

●医師より「認知症に精通していない医師もいる」と意見があったように、医療機関だからわかる、という先入観は入れてはいけないと学ばせてもらった。

●また高齢者の方々が受診された時に認知症を疑う事例が多々あるとのこと。初期対応にあたる事が多いと思われる為、今回の養成講座の意義は思いのほか大きいと思われる。

3. 取組み事例（1）対象者別事例
③職域一病院・薬局（木更津市）

問い合わせ先

【事務局】

木更津市高齢者福祉課支援担当

TEL：0438-23-2695 / FAX：0438-23-7181